

おなじみの

テレビCM復活はまだ先か

アイフル

言わずと知れた消費者金融業界の大手「アイフル」。今月半ばに私的整理の一種である事業再生

ADR（裁判外紛争解決）の活用方針が報じられ、業績不振の深刻さが鮮明に。市場や投資家の注目も一気に高まった。

業界ではこの先も、「過払い金」の返還請求訴訟が増えることが予想される。厳しい状況は変わらない」（経済ジャーナリスト）との見方で一致する。

「アイフルですつ」。あのテレビCMも当分、復活しそうにない。

企業価値検索サービス ユーレット アクセス上昇ランキング

(9月20~26日)

は、2010年3月期の連結最終損益で31億円の赤字に転落する見通しが公表され、正社員(約270人)の半減や、270店に及ぶ大のリストラ策が打ち出されたばかりだ。

今後は、住友信託銀行などの銀行団に対し、約

3000億円の債務返済期限の延長を要請しつつ、再建計画を練る考え。だが、「消費者金融

ユーレット 上場企業4000社の決算書を複数年にわたりデータベース化したサイト。売上高や営業CFなど、さまざまな角度から企業の経営を分析し、ワンクリックで他社と比較できる。経営方針の転換や経営リスクの高まりなど、市場が注目する銘柄のアクセスが増える傾向がある。

	銘柄	取引所	株価(円)
1	コスモスイニシア	ジャスダック	98
2	日本航空	東証1部	133
3	武富士	東証1部	390
4	ラディアホールディングス	東証2部	45
5	アイフル	東証1部	119

*25日終値。http://www.ullet.com/